定例記者会見

日時 令和6年6月6日(木)

午後1時から

場所 市役所3階 大会議室

1 発表項目

1 令和6年度6月補正予算(案)の概要(資料1)

本年度の6月補正予算案は、「安全・安心なくらしを実現」、「脱炭素社会の推進」、「にぎわいのあるまちづくり」を柱に必要な予算を計上しました。

「安全・安心なくらしの実現」は、新型コロナウイルスワクチンの接種体制の整備、介護・障がい福祉サービス事業所・保育園等の電気料金を支援する物価高騰対策、能登半島地震を背景とした木造住宅の耐震診断・改修を支援します。「脱炭素社会の推進」は、本市の提案が国に採択された公共施設への太陽光発電設備導入、「にぎわいのあるまちづくり」はまちなかでの店舗改修支援や越前おろしそばの発祥の地のPRなどを行います。

一般会計の予算規模は2億7048万2千円で、昨年度の6月補正との4億1860万4千円と比べ、1億4812万2千円の減です。昨年度は県の6月補正予算に合わせ、電気料金支援などの物価高騰対策1億6011万9千円を追加上程しており、これを除くとおおむね昨年度と同規模となっています。

(1)感染対策予防事業【新型コロナウイルスワクチン接種】

感染症予防対策の新型コロナウイルスワクチンの接種は、1億2013万1千円です。今年度から、新型コロナウイルスのワクチン接種は、高齢者のインフルエンザワクチン接種と同様に定期接種として位置づけられ、予防接種法に基づいて、市が主体となり行います。国の制度の概要が明らかになりましたので、ワクチンの接種について予算を計上しました。対象は、65歳以上の高齢者、または、60から64歳の心臓、腎臓、呼吸器、免疫機能障害があり、身体障害者手帳1級相当の人です。接種期間は10月から来年の1月末までを予定しており、自己負担は、国が示した、1人当たりの費用、15,300円から国の支援8,300円を除いた額の1/2である3,500円です。

(2)物価高騰対策支援事業

物価高騰対策の支援は国の支援が継続する、4月分、5月分の電気料金について、県と合わせて支援するものです。対象は、市内の介護・障がい福祉サービス事業所と民間保育園等であり、介護・障がい福祉サービス事業所については、県の支援に上乘せをし、民間保育園等については、県と合わせて1/2を支援します。

(3)住宅支援事業【木造住宅の耐震診断・改修】

木造住宅の耐震診断と改修費は3,109万8千円です。当初予算で計上した木造住宅の耐震診断について、能登半島地震の影響から耐震診断の申し込みが5月中旬現在で当初予算件数の20件を上回ったことから、件数を30件拡大、50件としました。耐震改修についても、14件拡大し、20件にします。耐震診断は、一般住宅の場合、本来10万2千円かかるものが1万円の負担で実施できます。耐震改修も令和6、7年度に限り補助上限を120万円から150万円に引き上げており、積極的に活用していただきたいと考えています。

(4)脱炭素社会実現事業【公共施設再エネ設備導入】

市民、事業者、行政が一体となって温室効果ガスの削減、カーボンニュートラルを目指すため、公共施設での再生可能エネルギー設備の導入や、市民、事業者の再エネ、省エネ設備の導入を支援するものです。本市が北陸電力、福井銀行、ふくい健康省エネ住宅推進協議会と共同で提案した結果、学校で活用されていないプールに太陽光パネルを設置することなどが評価され、国に採択されました。

(5)中心市街地活性化事業【まちなが商業にぎわい支援】

これも、当初予算で計上したにぎわいづくりのための店舗改装支援について、新たな案件の見込みが出てきたため、予算の件数を2件分増やすものです。現在、蔵の辻周辺の空き店舗等について、駄菓子屋、カフェの出店の相談があります。補正予算成立後、早ければ夏以降開店する見込みです。この補助率は1/2で、補助上限は75万円です。

(6)水田農業支援事業【越前おろしそば発祥の地PR】

この事業では、123万円を計上しています。越前たけふ駅周辺での麦やそばの花畑の景観づくりについて、麦秋を迎え、黄金の実りが観光客や新幹線乗客の目

を楽しませているところです。また、福井県は「そばがおいしいと思う都道府県ランキング」で4年連続1位を獲得しています。先日は、そばの販売食数がギネス世界記録に認定され、そばに対する関心が高まっています。この機会に「越前おろしそば発祥の地」のPRを行い、市内店舗でのカードの配布、夏そば消費キャンペーンの実施や新幹線沿線駅の富山・長野・大宮駅でのポスター掲示や金沢駅でのデジタルサイネージ掲示などにより本市のそばの認知度向上や誘客を図っていきます。

(7)スポーツ大会出場者激励事業【パリ 2024 オリンピック出場選手激励とパブリックビューイング実施】

5月19日にリオデジャネイロ大会から3大会連続でフェンシング日本代表に内定した見延選手を市民全体で応援するための壮行会や大会に合わせパブリックビューイングを開催します。壮行会は、既決予算を活用し6月16日に市役所の eホールで実施予定です。パブリックビューイングは、個人戦が7月28日の17時から、団体戦が8月2日の20時30分から、いずれもいまだて芸術館で開催予定です。オリンピックの競技日程は変わる可能性があります、それに合わせて実施予定です。5月19日にフランスで開催されたオリンピック前の、最後のワールドカップは、見延選手もメンバーとして参加し、男子日本代表チームは決勝で世界ランク1位のフランスを倒して金メダルを獲得しました。勢いに乗って、再度金メダルを獲得できるように市民とともに応援したいと考えています。

(8)農業生産総合対策条件整備事業【麦・大豆生産性向上支援】

国産の麦・大豆の生産拡大に向けてコンバインなどの農業機械を導入する事業者への補助金、生産性の向上につながる取り組みを補助するものです。県から3月末に内示があったため、当初予算ではなくて6月になりました。補助率は、機械整備については1/2、生産性向上の取り組みは10a あたり1万円を上限に支援します。

2 脱炭素社会実現事業(資料2)

脱炭素について、北陸電力、福井銀行、ふくい健康省エネ住宅推進協議会と共同で提案したものが、環境省から5月24日に採択を受けました。今年度121の自治体から応募があり、現地点で32自治体が選定されています。これは、令和4年

度に創設された補助事業です。本市の場合、使用していない学校プールに太陽光を設置する点が評価されたと聞いています。

事業内容は、令和7年度からスタートさせる、市民・事業者向けの再エネ・省エネ設備の導入支援 事業費約4億円と、令和6年度からの公共施設への再エネ設備の導入 事業費約3億3千万円の2本の柱による5か年計画で総額約7億3千万円です。これにより、市全体で約3,000トン、市の設備、施設では約600トンのCO₂の削減となり、現在進めている市施設のLED化事業の800トンと合わせて1,400トンの削減となります。これを家庭で置き換えると、1世帯当たりの年間のCO₂排出量は3.73トンであるため、375世帯分の排出量に相当します。この事業単体での越前市全域におけるCO₂削減量は微々たるものですが、国が進めている2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、こうした形で一般の市民それから事業所が参画することが重要であると思っています。温室効果ガスの排出量取引制度への参加について、業種によっては2026年度から義務付けされる可能性がありますので、多くの事業所にとって脱炭素を避けることができなくなります。Jクレジットの導入も含め、こういった事業を進める大きなきっかけになると、福井県全体はもとより、全国的にもモデル事業になっていくのではということで、市全体、市民全体で脱炭素を進めていきます。

3 「八芳園」と連携した首都圏プロモーション『紫式部が暮らした越前市 in 東京・白金台』開催について(資料3)

大河ドラマ「光る君へ」は6月2日の回でいよいよ越前国府に入ってきました。国府や越前和紙が登場し、本市に注目が集まる大きな機会だと思っています。このタイミングで東京の白金台にあります結婚式場、「八芳園」がもつ、ポップアップストア「MuSuBu」でPRイベントを行っています。紫式部関連の商品や平安時代をテーマとしたスイーツに加えて、地元の食材を使った料理や、オーガニック食材、伝統工芸品の販売提供だけでなく、土日には紙すきや、銘切り、職人による包丁研ぎ等のワークショップも開催しております。

4 軽井沢絵本の森美術館と越前市かこさとしふるさと絵本館「石石」との連携スタンプラリー開催について(資料4)

6月14日から4か月間にわたって、長野県の軽井沢絵本の森美術館において、北陸新幹線福井延伸の記念特別展「かこさとし 絵本への「まなざし」」が開催され

ます。令和4年の3月に県と軽井沢町とで連携協定を締結しております。連携に伴い、軽井沢の絵本の森美術館と加古総合研究所が協議し、かこさとし特別展の開催が進められ、本市とも連携していただけることになりました。期間中に2館でスタンプを押した方には『からすのパンやさん』のイラストカードの進呈を行います。特に別荘所有者の富裕層を呼び込むことで、本市への誘客促進、消費拡大につなげたいと考えています。

5 質疑要旨

【質問】6月補正予算で計上されている耐震診断について、現時点で何件か？

【回答】6月5日現在、耐震診断の申し込みは木造住宅36件、伝統古民家は7件です。

【質問】改修については？

【回答】木造住宅については3件、伝統古民家は0件です。木造住宅は3件に加え、さらに2件申請準備中です。

【質疑】現在、小学校のプール授業は全て武生中央公園の室内プールになり、市内の小学校プールは使っていないという認識で間違いないか？

【回答】令和6年度からすべての小学校のプール学習は武生中央公園の室内プールに集約されています。

【質疑】太陽光パネルを置く小学校は具体的に決まっているか？

【回答】内部で協議した上で、令和7年度の当初予算までには決めたいと思っています。

【質疑】脱炭素社会実現事業全体のことで、CO₂削減3,000トンという数字は現在の削減目標と照らして、どの程度のインパクトになるのか？

【回答】市の環境基本計画の目標として大きな数字を掲げており、市全体で考えると微々たるものですが、市の施設全体で考えるとかなりの量の削減になっていきます。全体のインパクトというよりは、「市がやっている」ということを全面にアピールし、今後、市民や事業者の皆さんにも波及し、ドミノ倒しのように市内で脱炭素が進むきっかけになってほしいです。